※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育②ｂ	単位数	1	年次	2
使用教科書	現代　高等保健体育（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人間の本能でもある「動く楽しさ」に「分かる楽しさ（思考判断・知識理解）」「できる楽しさ（運動技能）」「仲間と関わる楽しさ（関心意欲態度）」が加わることで、運動の楽しさや喜びはさらに膨らみます。

運動を科学的に理解し実践することにより､その楽しさを十分に味わうことができるよう自ら進んで運動しようとする意欲を持ちましょう。そして、生徒諸君が生涯にわたり運動に親しみ、豊かなスポーツライフを実現できるように、その為の基礎を作るのが「体育」の授業です。

2　学習の到達目標

①運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付ける。
②生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
③運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようするなどの意欲や，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的実践を通し、運動特性に応じて勝敗を競い、攻防を展開するための各段階的な技能を身に付けている。運動の技術名称や体力の高め方、課題解決方法などスポーツを行う際の安全確保について具体的方法を理解している。	生涯にわたるスポーツライフの実現を目指し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。体力や技能を向上するための計画を考えることができる。	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わうことが出来るよう、健康や安全を確保して学習に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断し、公正･協力･責任･参画などの態度を身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	球技	ハンドボール	a：状況に応じた基本的なボール操作の技能や空間を埋める動きを身につける。 審判やゲームの進め方について理解している。 b：チームが目指す目標に応じたチームの課題や自己の目標を設定している。 c：作戦などの話し合いに貢献しようとしたり、フェアプレイを大切にしようとする。	・実技テスト ・授業での動き ・プリント学習	・授業での動き ・ワークシート ・パフォーマンス課題	・授業での動き ・ワークシート ・パフォーマンス課題
	球技	サッカー	a：状況に応じた基本的なボール操作の技能や空間を埋める動きを身につける。 審判やゲームの進め方について理解している。 b：チームが目指す目標に応じたチームの課題や自己の目標を設定している。 c：作戦などの話し合いに貢献しようとしたり、フェアプレイを大切にしようとする。	・実技テスト ・授業での動き ・プリント学習	・授業での動き ・ワークシート ・パフォーマンス課題	・授業での動き ・ワークシート ・パフォーマンス課題
	球技	バレーボール	a：状況に応じた基本的なボール操作の技能や空間を埋める動きを身につける。 審判やゲームの進め方について理解している。 b：チームが目指す目標に応じたチームの課題や自己の目標を設定している。 c：作戦などの話し合いに貢献しようとしたり、フェアプレイを大切にしようとする。	・実技テスト ・授業での動き ・プリント学習	・授業での動き ・ワークシート ・パフォーマンス課題	・授業での動き ・ワークシート ・パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度